

春休み号

春一出会いと別れ一

校長 桐ヶ谷 淳子

学 校 だより



大和市立草柳小学校
大和中央3-6-1

新型コロナウイルスの感染拡大は、まだまだ収束の兆しが見られませんが、3月21日には「まん延防止等重点措置」が解除となりました。春休みを迎えるにあたり、感染が再拡大しないことを祈るばかりです。

学校は3月に入ってからは、コロナによる学級閉鎖も収まり、今日無事に令和3年度の修了式を終えることができました。

18日は第65回卒業証書授与式でした。寒の戻りのあいにくの天候でしたが、今年はPTA会長ならびに学校評議員の皆さまを来賓にお招きして、卒業生の巣立ちをお祝いしました。感染拡大防止の観点から規模は縮小しましたが、今年は合唱と短いコールを行いました。マスクとフェイスシールド越しでしたが、卒業生の言葉や歌声には、6年間の思いが詰まっていたように感じました。コロナ禍でなかなか歌うことができなかった校歌を、式の最後に歌ったことも良かったと思います。また、証書を受け取った後の子どもたちの一言では、感謝を伝える言葉が多く聞かれました。目頭を押さえる保護者の方の姿も見られ、会場中がほのぼのとした温かい雰囲気にも包まれたようでした。

在校生代表として式に参列した児童や、教室からオンラインで式に参加した5年生も、来年の自分の姿を想像していたのではないかと思います。小学校の締めくくりの1年間、たくさん勉強してたくさん遊んで、いろいろなことにチャレンジしてほしいと思っています。最高学年としての自覚を持つことや、自分の行動に責任を持つことなど、心の成長も大いに期待しています。

「春」という漢字は、「日(太陽を表す象形)」+「艸(並び生えた草を表す象形)」+「屯(群がるという意味)」からできていて、「草が日を受けて群がり生ずる様子」を表しています。この漢字の成り立ちの通り、校庭の草もだんだん緑が濃くなり始めました。もうすぐ桜の樹もピンク一色に染まります。

春は出会いと別れの季節です。今日は修了式の後に、この3月に草柳小学校を去られる先生方よりご挨拶をいただきました。子どもたちにとっては、お世話になった先生方との別れは寂しいものだと思います。でも4月には新しい先生や友だちとの出会いが待っています。

春休みには新学年に向けてしっかり準備をして、4月からは新しいクラスで元気いっぱい生活してほしいと思っています。

保護者の皆さまには、今年度も本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、まことにありがとうございました。コロナ関連で急きょ給食の提供が中止になった時は、本当にご迷惑をおかけし申し訳ありませんでした。春休み中も、ご家庭でのお子さまの健康観察や外出の際の感染防止対策の徹底等にご協力ください。

コロナの感染拡大が続く中で、今後も予定の変更や中止等があるかと思っています。学校としては引き続き、「教育活動を止めないこと」「できることを丁寧に実施すること」に努めていきたいと考えています。次年度もどうぞよろしくお願いいたします。